

ネット59 HOMETOWN

健康的な体づくり学ぶ

日本政策金融公庫福島支店の取引先企業でつくる中小企業親公会は6日、郡山市熱海町のホテル華の湯で講演会を開き、出席者が健康的な体づくりについて学んだ。



順天堂大の奥村康アトピー疾患研究センター長が「免疫と長生き～不良長寿」と題し講演した一写真。講演会に先立ち、同会の総会が開かれ、本年度の事業計画案などを承認した。

創立25周年記念誌を披露

県公立小中学校退職教頭会(丹治和美会長)は4日、郡山市の清稜山倶楽部で総会を開き、25年間の活動をまとめた創立25周年記念誌を披露した。県内各地区の会員約25人が出席。丹治会長は「25年の節目を迎えることができ感無量。会の設立、運営に携わった方々に感謝したい」とあいさつした。記念誌は出席者に配られた。また、功労者として渡辺清治さん(郡山)に花束が贈られた一写真。



議事では、役員改選で丹治会長を再任したほか、退職教頭の入会勧誘による組織強化などを盛り込んだ本年度事業計画を決めた。終了後、昨年4月に日本遺産に認定された「未来を拓いた『一本の水路』」にまつわる安積疏水の関連施設を見学した。

腎臓病医療充実求める

県腎臓病協議会(長谷川裕会長)は4日、郡山市で大会を開き、腎臓病患者の医療、福祉の充実を訴える大会宣言を採択した一写真。



会員ら約120人が出席。長谷川会長が「会員のため、腎臓病患者のための各種活動にまい進していく」とあいさつした。続いて、長年透析治療を行っている患者と退任役員に対する表彰を行った。また、福島医大医学部腎臓高血圧内科学講座主任教授の風間順一郎さんが、透析患者の災害対策について講演した。

木材産業功労者たたえる

県木材協同組合連合会は5月30日、福島市で総会を開き、県内

不法投棄防止へパトロール

県と県警は2日、相双地方で県警ヘリによる産業廃棄物の不法投棄パトロールを行った一写真。相馬市や檜葉町、飯館村など5市町村で、過去に不法投棄が確認された地点を中心に監視したが、新たな不法投棄の現場は確認されなかった。会津・南会津地方の監視は、悪天候で中止した。



県の「不法投棄防止強調月間」に合わせて実施。県、県警、県いわき処分場保全センター、県産業廃棄物協会などが連携し、パトロールや産業廃棄物運搬車両の指導検査、事業者への啓発などに取り組んでいる。

東京都市大校友会が総会

東京都市大の校友会県支部は3日、いわき市の雨情の宿「新つた」で総会と懇親会を開き、出席者が近況などを報告した一写真。

佐藤安宏支部長が「有意義な交流をしたい」とあいさつ。活動報告として、同大がいわき産学官ネットワーク協会と連携し、共同研究促進などを目的に昨年開設した「東京都市大(TCU)産学連携いわきサテライトセンター」について、羽倉尚人同大助教が紹介したほか、同大OBでいわき大王製紙専務の鳥取秀樹さんが講演した。



要拡大と普及PRなどを盛り込んだ本年度の事業計画を承認した。席上、各種表彰を行った。

◇木材産業功労者表彰 ▽感謝状＝小松吉昭(前理事・前郡山地区木材製材協同組合理事長)初瀬広(同・前警城木材協同組合理事長)斎藤公男(同・前県木材市場協同組合理事長)小沼清一郎(前監事・前会津木材協同組合副理事長)▽優良勤続者＝大谷信男(千葉製材所)遠藤泰雄(真名畑林業)渡辺純一(吉田林業)

放射線測定器校正施設を見学

郡山市の国際情報工科大学自動車大学の放射線工学科の学生は5月24日、同市富田町の日本遮蔽技研で、放射線測定器の校正施設を見学した。



同学科の1、2年生15人が参加。測定器の校正は、環境省のガイドラインに基づき、年1回必要とされている。基準となる放射線を測定器に照射し、目

団員が自己紹介し合うなど、訪問を前に団結した説明会



4日、郡山市労働福祉会館で開かれた。団員が初めて集ま

県内生徒52人 郡山で初の顔

つくる同会が2012(平成24)年から継続し、6回目。県内の生徒52人が7月末に出国、約10日間の日程で、現地の子どもたちとの交流や線量計製造会社の見学などを行う。説明会では、同会理事長で派遣団団長の長尾トモ子県議があいさつ。団員は互いに自己紹介したり、現地でのスケジュールを確認するなど、訪問に向け準備を進めた。

東京電力福島第1原発の廃炉について住民らが分かりやすく学ぶ「福島第1廃炉国際フォーラム」は7月2日、広野町中央体育館で開かれる。原子力損害賠償・廃炉等支援機構の主催。住民目線で福島第1原発の廃炉を考えようと「何が分からないかが分からない」という参加者にも分かりやすいように同原発の現状などを説明する。進行役は立命館大衣笠総合研究

廃炉 分かりやすく説明

を交えた質疑などを通し、廃炉の課題などについての知識を深める。住民代表として福島高校生や福島大生らも参加する予定。同機構は現在、一般の参加者を募っている。氏名、連絡先、同行者などを記入し、同機構にファクス(03・53348・3799)または電子メール(forum-fukushima.2nd@tobutopto.urs.co.jp)で申し込む。問い合わせは同機構(電話03・5348・3500)へ。

が県内7カ所である。時間午前9時後4時30分。定申し込み締め切電話かファクスで申し込む。Eメールは同NPO(電話024・5633・平日午前9時)同NPOの鈴